

観覧のご案内

歴史室

Medieval and Early Modern History Gallery

全州(チョンジュ)は、朝鮮王室の先祖たちが根づいていた地域である。また、活発な経済活動が行われた豊かな都市であった。特に全州で刊行された完本の書籍は、18世紀に及ぶと民間に販売するため、木版に刻んで印刷する坊刊本の主流になり、全州は、様々な書籍が出版する文化藝術の中心地になった。

観覧料金 無料(特別展示は有料の場合もあります)

休館のご案内 定期休館日 1月1日、旧正月、秋夕(旧暦の8月15日)当日
コロナ19により、文化芸術機関に臨時休館命令が下された場合

ご観覧の際のご注意事項

展示物には手を触れないで下さい。
フラッシュ、三脚を利用した写真撮影、喫煙、食べ物のお持ち込み、ペット同伴でのご入館は、ご遠慮下さい。
展示室内の携帯電話のご使用は、お控え下さい。



国立全州博物館
55070 全羅北道全州市完山区スッコグ路249
電話 +82-63-223-5651~2 FAX +82-63-223-5653

石田記念室

Seokjeon Memorial Room

書道家として名高い石田(ソッジョン)黄旭(ファン・ウク)を記念する展示室である。1999年、黄旭(ファン・ウク)の子息のファン・ビヨンゲンが、5千点余りの文化財を国立全州博物館に寄贈した。2002年11月に開館し、黄旭の親筆書や遺品及び古本や手紙など、150点余りを展示している。



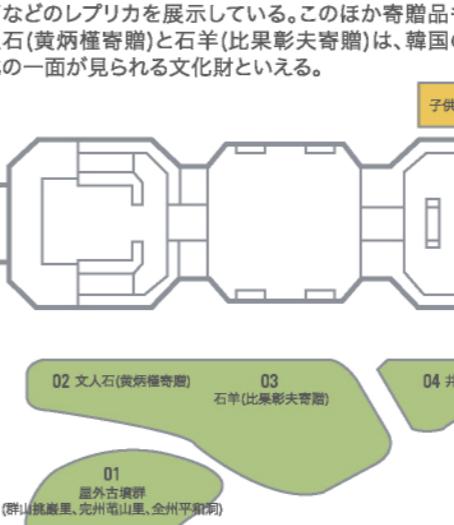
- 石田の書
- 401 真岡書室
- 402 五言詩屏風
- 403 承事如祭
- 405 主敬得天眞
- 406 七言詩對聯
- 407 溫故知新
- 408 七言詩屏風
- 石田の生涯
- 404 石田黄旭先生遺品
- 410 古い手紙文集
- 411 丁若鉉(ジョン・ヤッジョン)が送った簡札
- 412 磬溪隨錄
- 收集品
- 409 杜甫詩集



子供博物館

Children's Museum

朝鮮を代表する学者である繁城(オソン)と漢陰(ハウム)の幼年期をテーマでセッティングして作った展示室である。朝鮮時代の子供の学者文化が体験できる。第1室では、学者の一生を体験できる。第2室の体験空間では、様々な楽しみどころがある。



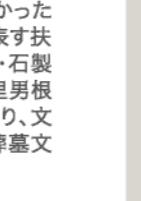
- ① 相生文化
② 安貧楽道
③ 浩然之氣
- ④ 先生の教え
⑤ 食事教育
⑥ 利害試験を受けに行く道
⑦ 正しい学者への道



屋外展示

Outdoor Exhibition

古墳、仏教美術、民俗のエリアに分かれている。古墳エリアの古墳は群山挑巻里、完州花山里、全州平和洞で発見された百濟時代の古墳を復元したものである。また、仏教美術エリアには井邑武城里で見つかった石仏像と蓮花台石を、民俗エリアには全羅北道の民俗文化を表す扶安西外里の石製チャンサン(村里や寺院の入口に立っている像)・石製ソッテ(先端に鳥が止まつた竿)や、茂朱大坪里石塔、淳昌昌徳里男根石などのレプリカを展示している。このほか寄贈品も展示しており、文人石(黄炳槿寄贈)と石羊(比果彰夫寄贈)は、韓国の伝統的な葬墓文化の一例が見られる文化財といえる。



ミュージアムショップ

本館1階。記念グッズや文化財のレプリカ、実用的な工芸品、文化・歴史に関する書籍や図録を販売しています。
営業時間 | 午前10時 ~ 午後6時

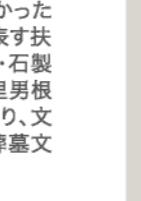
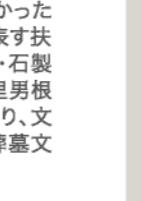


カフェ

本館2階。様々な種類のお茶やスイーツが楽しめます。
営業時間 | 午前10時 ~ 午後6時



施設のご案内



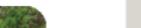
文化サンラボン

本館1階。53席規模の複合文化空間です。博物館大学などの講座やセミナー、文化公演などが開かれています。また、各種の活動を支援するために常設空間を貸し出しています。
平日・土日 | 午前11時、午後2時
夜間開館のとき | 午後6時
年中午前10時~午後6時(休館日を除く)



講堂

本館1階。234席規模の複合文化空間です。平日には文化関連の映像、土日と夜間開館のときには映画を上映しています。また、各種の活動を支援するために常設空間を貸し出しています。
平日・土日 | 午前11時、午後2時
夜間開館のとき | 午後6時
年中午前10時~午後6時(休館日を除く)



セミナー室

本館1階。40席規模のセミナー室です。学术講座やセミナーのために貸し出しています。
年中午前10時~午後6時(休館日を除く)



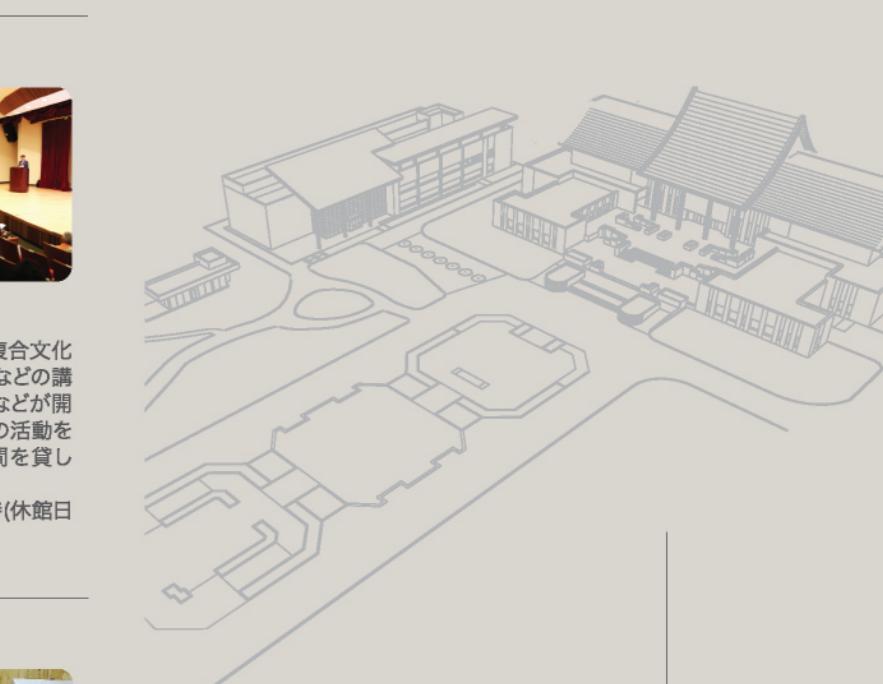
ペビールーム

本館1階およびこども博物館3階。授乳用椅子2個、浄水器、流し台があります。



国立全州博物館

JEONJU NATIONAL MUSEUM



国立全州博物館
Homepage
jeonju.museum.go.kr
Mobile
mjeonju.museum.go.kr
Facebook
www.facebook.com/JeonjuMuseum
Instagram
https://www.instagram.com/explore/tags/国立全州博物館

●●●

学者文化室

Seonbi Culture Gallery

朝鮮の学者たちは、絶えず人として当然守らなければならない正しい道が何か、悩み、探求しながら自ら実践した。学者文化室は、朝鮮の指導者であり、実践する知識人である学者の成長、役割、文化の力に焦点を合わせ、展示品が持つ歴史的意味と機能を、親切かつ詳細に見せてくれる。



●●●

リアリティーコンテンツ空間： 学者と自然

Seonbi in nature – Content space for realistic

学者文化室には、展示空間と共に、リアリティーコンテンツ空間がある。リアリティーコンテンツ空間で、学者が見て感じた自然を体験できる。

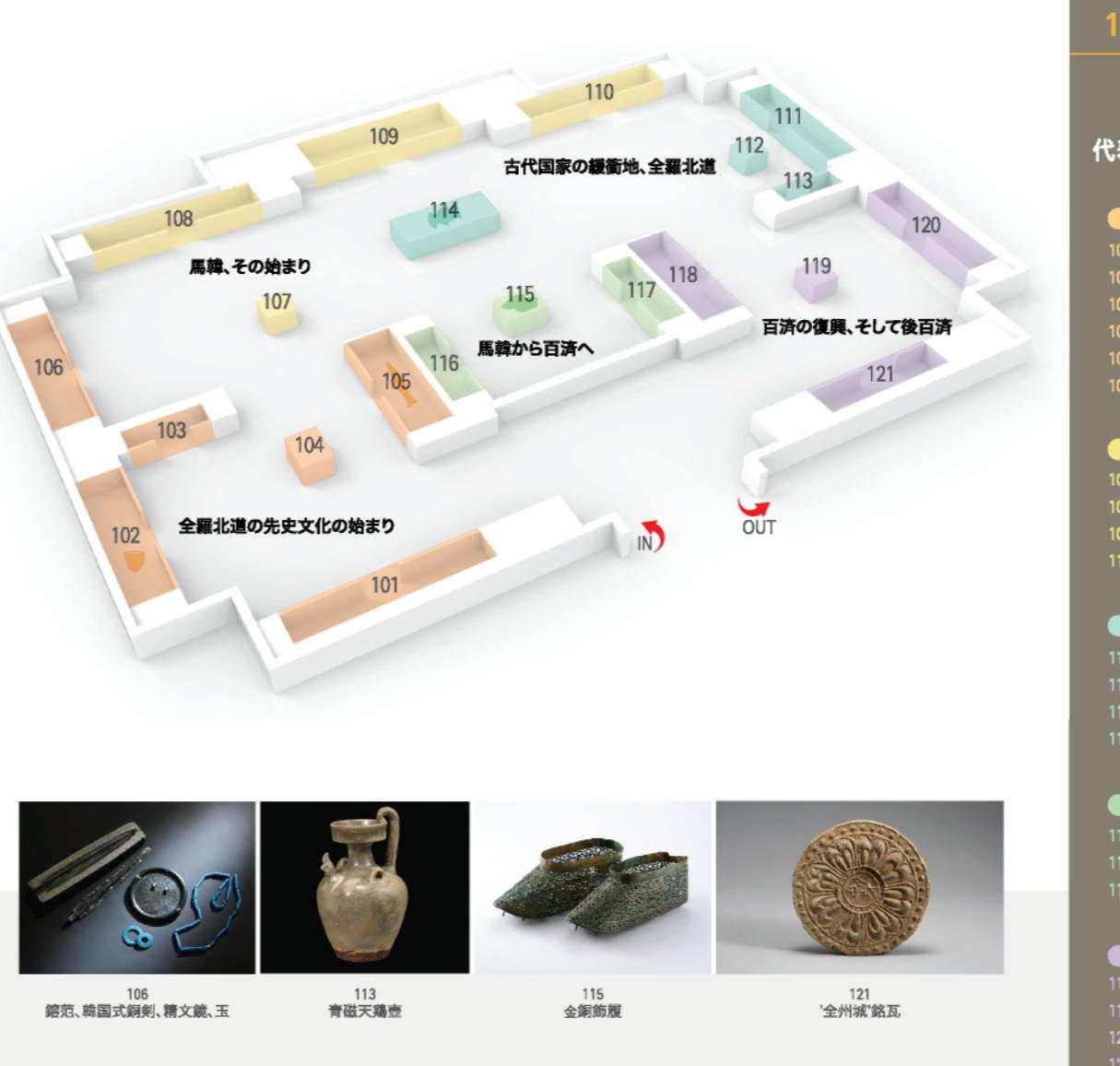


●●●

考古室

Prehistory and Ancient History Gallery

考古室は、全羅北道(チョンラブド)地域の先史、及び歴史時代の文化の流れを見てくれる。展示品は、最近発掘調査された遺物を網羅している。全羅北道地域の初期鉄器時代の文化を確認できる完州(ワンジュ)墓洞(カルドン)で出土した精文鏡(宝物第2,034号)、独自の勢力を維持していた全羅北道地域の馬韓の様子を見せてくれる高敞(コチャン)ボンドッチ遺跡の金銅飾履など、2,000点余りを展示している。



●●●

美術室

Fine Arts Gallery

全州は朝鮮王朝・王家の先祖が住んでいたとされ、盛んな経済活動が行われる豊かな都市であった。また、文化芸術の中心地としても知られているが、これは、全州で刊行された完版本(朝鮮後期に全州で刊行された国文小説の木版本の総称)が18世紀に入ってから民間に販売するための木版印刷の坊刻本の主流となり、出版が盛んになったことに由来するほか、全州のある全羅北道が石芝・蔡龍臣(1850~1941)、蒼巖・李三晚(1770~1847)、石亭・李定模(1841~1910)、旅菴・申景濬(1712~1782)、頤齋・黃胤鏡(1729~1791)などの知識人を多く輩出した場所でもあるためだ。歴史室は、全州を中心とした全羅北道の歴史と文化が一目でわかり、全羅北道出身の知識人たちが残した文化遺産を通して彼らの面影に触れることができる空間である。

